

プログラム

開会挨拶

10:15~10:20

第9回日本血液学会九州地方会会長

宮崎大学医学部内科学講座 消化器血液学分野

教授 下田 和哉先生

セッション1 リンパ系(1)

演題番号01~06 / 10:20~11:14

座長：久留米大学医学部内科学講座 血液・腫瘍内科部門

毛利 文彦先生

- 01 急性腎不全で発症したダラムマブ、カルフィルゾミブ不応性劇症型多発性骨髄腫
¹大分県厚生連鶴見病院 血液内科、²同院 腎臓内科、³同院 中央検査部、⁴同院 病理診断科
○佐分利益穂¹、栗本 遼¹、内田大貴²、曾我泰裕³、近藤能行⁴、井谷和人¹、幸野和洋¹、中山俊之¹
- 02 Daratumumab 併用化学療法後に Light chain escape で再発した血清アミラーゼ高値を伴う多発性骨髄腫の一例
地域医療機能推進機構九州病院
○森 匡平、山戸和貴、百合野彩乃、河野健太郎、青木健一、小川亮介
- 03 副甲状腺機能低下症を合併し異所性肺石灰化症を来した多発性骨髄腫
¹長崎大学病院 血液内科、²長崎大学病院 第二内科、
³長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科病理部 / 病理診断科
○榑 智佳¹、安東恒史¹、今泉芳孝¹、山本和子²、田中 萌²、財前圭晃³、一瀬将広¹、古本崇文¹、橋本美紀¹、藤岡真知子¹、坂本 光¹、蓬莱真喜子¹、田口正剛¹、糸永英弘¹、佐藤信也¹、澤山 靖¹、波多智子¹、迎 寛²、福岡順也³、宮崎泰司¹
- 04 骨髄腫に対する治療が奏功した高齢者 Plasmablastic Lymphoma の1 剖検例
¹中頭病院 血液腫瘍内科、²中頭病院 内科、³中頭病院 病理科、
⁴琉球大学大学院 医学研究科腫瘍病理学講座
○林 正樹¹、金城重子¹、與那覇梨早²、仲田典広³、小山寛文⁴、森島泰雄¹
- 05 過粘稠症候群を合併した IgM 型多発性骨髄腫
¹長崎医療センター 血液内科、²長崎大学病院 臨床検査部、³長崎医療センター 病理部
○村上 侑¹、千綿雅彦¹、小林裕児¹、中島 潤¹、加藤丈晴¹、佐々木大介²、柳原克紀²、伊東正博³、吉田真一郎¹
- 06 c-myc/IgH 融合遺伝子を認めた Bing-Neel 症候群の一例
国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
○下川知則、栗山拓郎、藤井香菜江、松尾弥生、吉田周郎、平安山英穂、衛藤徹也

プログラム

セッション2 赤血球系疾患 演題番号07～10 / 11:24～12:00

座長：福岡大学 腫瘍・血液・感染症内科 佐々木 秀法先生

07 著明な高フェリチン血症を伴ったアルコール性鉄芽球性貧血の一例

熊本大学医学部附属病院

○徳永賢治、辻橋みずほ、今金大輔、岩永栄作、松岡雅雄、米村雄士

08 新生児期の集学的治療によって救命し得た最重症型 α サラセミア症例に対する根治治療としての造血細胞移植

¹九州大学大学院医学研究院 成長発達医学分野、²福岡市立こども病院 新生児科

○園田素史¹、石村匡崇¹、長谷川一太¹、幸伏寛和¹、矢田裕太郎¹、江口克秀¹、白石 暁¹、野口雄史²、島 貴史²、岡田純一郎²、楠田 剛²、金城唯宗²、漢 伸彦²、高畑 靖²、大賀正一¹

09 骨髄原発 DLBCL の治療中に赤芽球癆を発症した1例

国立病院機構 九州医療センター

○次郎丸高志、岩崎浩己、山崎 聡、高瀬 謙、門脇賢典、下茂雅俊

10 慢性腎不全を有する超高齢者に発症した亜鉛誘発性銅欠乏性貧血の一例

佐賀県医療センター好生館

○永田絢子、岡本 翔、久富 崇、飯野忠史、近藤誠司

評議員会

12:00～12:20

ランチョンセミナー

12:20～12:50

座長：長崎大学原爆後障害医療研究所 原爆・ヒバクシャ医療部門
血液内科学研究分野 教授

宮崎 泰司先生

骨髄腫診療の過去・現在・未来

演者：佐賀大学医学部附属病院 血液・呼吸器・腫瘍内科 講師

久保田 寧先生

共催：ヤンセンファーマ株式会社

プログラム

教育講演

13:00~13:40

座長：琉球大学医学部 保健学科 教授

福島 卓也先生

ホジキンリンパ腫の病態と診断 ～最近の話題～

演者：琉球大学大学院 医学研究科 細胞病理学講座 教授

加留部 謙之輔先生

ホジキンリンパ腫の治療 update

演者：九州大学病院 血液・腫瘍・心血管内科 診療准教授

加藤 光次先生

共催：武田薬品工業株式会社

セッション3 骨髄系腫瘍

演題番号11~17 / 13:50~14:53

座長：産業医科大学病院 血液内科

森本 浩章先生

11 重篤な DIC を呈し急性前骨髄球性白血病との鑑別を要した非定型慢性骨髄性白血病

¹ 佐賀大学医学部附属病院 卒後臨床研修センター、² 佐賀大学医学部附属病院 血液・呼吸器・腫瘍内科
○藤田真衣¹、蒲池和晴²、山口享祐²、横尾眞子²、城戸口啓介²、草場香那²、佐野遥菜²、久保田寧²、
安藤寿彦²、小島研介²、木村晋也²

12 細胞形態からは診断困難であった APL, microgranular variant の一例

小倉記念病院
○岩井文絵、小倉愛子、松原理絵、大中貴史、米澤昭仁

13 心タンポナーデで急性白血化した RAEB2 症例

同心会古賀総合病院
○武内正紀、河野 浩、松岡 均

14 妊娠中に急性骨髄性白血病を発症し、妊娠継続のもと化学療法を行い分娩に至った一例

¹ 大分大学医学部附属病院 腫瘍・血液内科学講座、² 大分大学医学部附属病院 産婦人科学講座
○柳井優花¹、坂田真規¹、片山映樹¹、吉田奈津美¹、本田周平¹、長松顕太郎¹、高野久仁子¹、
河野利恵¹、緒方正男¹、森田泰介²、西田欣広²、白尾國昭¹

15 縦隔原発胚細胞腫瘍に合併した急性巨核芽球性白血病

宮崎大学医学部附属病院
○西村賢人、秋月溪一、日高智徳、田平優貴、関根雅明、上運天綾子、亀田拓郎、幣光太郎、
久富木庸子、下田和哉

16 急性骨髄性白血病を発症した遺伝性血小板増多症の1歳女児

¹ 鹿児島大学病院 小児科、² 鹿児島大学病院 血液・膠原病内科
○中川俊輔¹、吉満 誠²、精松貴成¹、児玉祐一¹、西川拓朗¹、岡本康裕¹、石塚賢治²、河野嘉文¹

17 骨髄増殖性腫瘍の实地診療におけるドライバー遺伝子変異解析の意義

熊本市民病院 血液・腫瘍内科
○津田弘之、山崎 浩

プログラム

セッション4 リンパ系(2)、造血幹細胞移植 演題番号18~23 / 15:03~15:57

座長：九州大学医学部 病態修復内科

沼田 晃彦先生

18 肉芽腫様病変を伴う病理組織像を呈した再発性びまん性大細胞B細胞リンパ腫の一例

¹九州がんセンター 血液内科、²九州がんセンター 細胞治療科、³九州がんセンター 臨床検査科、
⁴九州がんセンター 病理診断科、⁵九州大学 病理診断科・病理部、
⁶九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学
○宮下 要¹、崔 日承¹、田中孝典¹、平田聖子^{1,2}、宇都宮勇人²、平田明恵³、大野博文²、
中嶋恵理子¹、立川義倫¹、上里 梓⁴、山元英崇^{5,6}、田口健一^{3,4}、末廣陽子^{1,2}

19 化学療法及び放射線療法に対して抵抗性を示した Cranial vault lymphoma の1例

¹産業医科大学病院 血液内科、²産業医科大学若松病院 緩和ケア・血液腫瘍科
○藤山智宏¹、中西 司¹、大河原沙代子¹、後藤 碧¹、渡辺 徹¹、赤尾健一¹、廣澤 誠¹、
北村典章²、山口享宏¹、田中 綾¹、東 丈裕¹、森本浩章¹、塚田順一¹

20 Dose-adjusted EPOCH 療法 入院期間短縮の試み

久留米大学病院
○毛利文彦、山崎嘉孝、大屋周期、中村剛之、森重 聡、山口真紀、青山一利、関 律子、
大崎浩一、長藤宏司

21 HLA 半合致移植後の生着不全に対し脱感作療法を併用した救援再移植を施行したドナー特異抗体 (DSA) 陽性 AML 症例

¹九州大学病院 病態修復内科学、²九州大学病院 遺伝子細胞療法部
○松島 巧¹、南満理子¹、森 康雄¹、石原大輔¹、陣之内文昭¹、竹中克斗¹、平安山知子²、
吉本五一¹、沼田晃彦¹、加藤光次¹、宮本敏浩¹、赤司浩一^{1,2}

22 G-CSF 単独による造血幹細胞動員不良に対しプレリキサホルを使用し十分量採取し得た POEMS 症候群の2例

鹿児島大学病院
○中別府聖一郎、鎌田勇平、中村大輔、有馬直佑、林田真衣子、新居亮彦、吉満 誠、石塚賢治

23 骨髄異形成症候群に対する同種造血幹細胞移植経過中にスエヒロダケ (*Schizophyllum commune*) による副鼻腔炎を合併した一例

¹九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学、²九州大学大学院医学研究院 病態修復内科学、
³九州大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科学
○奈良崎泰典¹、塚本康寛¹、牟田宏樹¹、津田麻理子¹、木村大作¹、増田 徹¹、高松明子¹、
西田留梨子²、村上大輔³、中嶋康博¹、白土基明¹、小川佳宏¹

閉会挨拶